

彩の国プラチナ混声合唱団

第9回国際シニア合唱祭 初出場で「うるわし賞」受賞

加藤良一 2017/4/11

彩の国プラチナ混声合唱団は、4月10日から12日までの3日間にわたり、横浜みなとみらいホール・大ホールで行われた**第9回国際シニア合唱祭 ゴールデンウェーブ in 横浜**の2日目に初めて出演しました。今回の出演は97団体、3,700名にも及び、海外からもエントリーしてくる国際都市横浜にふさわしい大会です。



この大会は、2008年4月、横浜から世界へ発信しようと、横浜開港150周年記念事業の一環としてスタートしました。主催者の特定非営利活動法人ゴールデンウェーブの言葉を借りれば、ゴールデンエージには、人生の豊かさ、優しさを育む響きがあり、大航海を乗り越えてきた悠々とした風格を感じさせます。講評者には、著名な作曲家、声楽家、指揮者が12名も揃っていました。一日を3ブロックに分け、最後に講評と表彰式を行います。司会進行役はフリーアナウンサーの朝岡聡さんでした。



プラチナ混声は、埼玉県合唱連盟が加盟団体に広くメンバーを募って結成したイベント合唱団です。まとめ役は**小島嘉子**・副理事長、指揮は**蓮沼喜文**・常務理事、ピアノ**持田みどり**・理事。

本番の4月11日は朝からあいにくの雨となり、冬がちょっと戻ってきたような寒い一日となりました。直前に都合が悪くなって出演できなくなったメンバーが若干いたものの、109人がオンステし、モーツァルトの「Ave verum Corpus」と團伊玖磨<筑後川>より「河口」を演奏しました。性格の異なる2曲を歌いわけするためにはそれなりの工夫が必要ですが、指揮者の的確な指示でまとまりのある演奏ができたと思います。

そして、栄えある（心の中では狙っていた...）「うるわし賞」を頂きました。



講師の先生方の講評を以下に紹介します。

◇**新実徳英**（作曲家）

スゴイ人数、しかも4か月！！ 大きく広がる「Ave verum Corpus」でした。佳き空間。「河口」は、スケールの大きな力強い合唱。6回の練習でよくここまで仕上がりましたね。皆さんの努力の賜物ですね。

◇**青山恵子**（声楽家）

合唱経験のある方々、歌い手の方も交じっていらっしゃるのかな...声もそろい素敵なハーモニーでした。日本語で歌う時、とくに最初の一文字目にしっかり意識をもっともっと明確に伝えてほしいと感じます。歌い上げていくと言葉が聞き取れないので工夫してみてください。パワーもバッチリ、重厚な合唱を聞かせて頂きました。

◇**岸 信介**（指揮者）

豊かでおらかな音楽good！！ 世界の名曲と日本の名曲、素晴らしい演奏でした。これからも頑張ってください。

◇**上田真樹**（作曲家）

合唱経験の長い方々の集合と思いき一人ひとりの歌唱技術が高いため、豊かな響きがホールを満たして幸せな空間でした。ダイナミクスも表現もレンジが大きく、スケールの大きな「河口」は圧巻でした！男声もよく鳴ってバランスもよく、響いていました。

◇**清水敬一**（指揮者）

「Ave verum Corpus」丁寧さとおおらかさのある素敵な演奏でした。成立間もない合唱団と伺いましたが、この作品は無限に磨き続けられるので、いつまでも歌ってください。その時々の方々の姿を映す鏡のように、「河口」はスケール大きく、作品に相応しかったです。組曲がこの終曲へ向かっていく心情の旅を味わうことも是非。



[Back](#)

[Home](#)

[彩の国ブラチナ混声合唱団TOPへ](#)

[HOME PAGEへ](#)